

事務事業名	市道新庄温泉支1号線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課	
総合計画体系的	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	国県事業G	課長名	小村 利之
	施策名	(12)生活道路の整備	担当者名	稲田 隆	電話番号	0854-40-1063
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活意図 市内を安全に移動できる。	予算科目	会計 014008	(内線)	2462
	対象	道路(市道)	大事業名	国道・県道整備事業	中事業名	県道整備関連事業
基本事業名	(035)生活道路の新設・改良	項目	101503			
目的	対 道路利用者 意 安全に移動できるように道路を新設・改良する。					

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	島根県が施行する主要地方道松江木次線路肩拡幅工事(雲南市大東町新庄地内)に関連して、視距不良と急勾配な取り付けであった市道新庄温泉支1号線の県道取り付けを改良するものである。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・測量設計、用地測量 ・道路改良工事 ・用地買収 ・支障物件補償	30年度計画(30年度に計画する主な活動) なし			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 整備延長	m			22	
	イ 供用延長(累計)	m			22	
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	市道及び市道利用者	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 整備計画延長	m			22	
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%			100.0	
			イ					
			ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	委託費 2,419千円	工事費 3,212千円	用地費 313千円	補償費 382千円	計 6,326千円	
② コストの推移	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			6,000
		その他	千円			
		一般財源	千円			326
	事業費計(A)	千円			6,326	
	人件費	正規職員従事人数	人			1
延べ業務時間		時間			100	
人件費計(B)		千円			408	
トータルコスト(A)+(B)	千円				6,734	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
尾道松江線の開通と三刀屋木次ICより以北の料金抵抗により、松江木次線は交通量が増え、通行速度も上がっている。県道には片側しか歩道がなく、交通量が多いことから歩行者の通行が危険であった。	島根県と同時に施工することにより、通行規制期間の短縮や交通誘導員の減員、施工の効率化が図られる。	平成28年度に県道への歩道設置及び市道の取り付け改良について、地元要望があった。島根県では直ちに歩道整備(路肩拡幅)に取り組まれた。

事務事業名	市道新庄温泉支1号線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	地理的な条件および県道整備との調整により向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	県道整備と連携して行うため、整備効果に影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 理由	各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	設計測量については業務委託をしているが、用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	島根県と事業調整を図り、早期に投資効果を発揮した。

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																	
平成29年度で事業終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持低下		×	×														